

本県工業教育の更なる充実と発展のために
～「再生可能エネルギー研究」「技能五輪全国大会本県開催決定」～

山形県教育庁高校教育課 指導主事 高橋良治

日ごろ 本県工業教育の充実に御尽力いただき感謝申し上げます。

さて、今年度も、各校の御努力により、「生きる力」を育む創意に富んだ教育実践が展開され、数々の成果を上げています。

例えば、学校を挙げてのものづくりでは、環境や再生可能エネルギーに配慮した取り組みや地域社会に貢献する取り組みが目立ちました。山形工業高校は、循環型社会の形成に向けた活動を称える（３Ｒ）リデュース・リユース・リサイクル推進協議会からの功労表彰として、文部科学大臣賞を受賞しております。東根工業高校は、全生徒による太陽電池パネルづくり、国内外での太陽光発電システムの普及活動が高く評価され、日本電気協会エネルギー教育賞高校・高専の部で最優秀賞を受賞いたしました。

ものづくりコンテストでは、東北大会を経て、本県から７部門中３部門（自動車整備、電子組立、化学分析）で、全国大会に出場しました。

技能検定の合格状況でも、前期段階で、高校生の合格者が２・３級併せて、過去最多の３３２名（昨年同期＋８８名）に及んでおります。

これらは、先生方が工業教育に気概を持ち、生徒達との係わりを大事にし、丁寧かつ熱心に御指導いただいていることの成果に他なりません。改めて感謝申し上げます。

さて、福島第一原子力発電所の事故を受け、安全で持続可能なエネルギーの必要性が増しています。本県でも、今後のエネルギー政策を示す「山形エネルギー戦略」が策定され、具体的な施策が展開されています。工業教育にも再生可能エネルギーをテーマとした、ものづくり実践に期待が寄せられています。高校教育課では、この流れを受けて、再生可能エネルギーに関連した研究を来年度の事業として展開したいと考えています。狙いは、これまで工業高校で実践してきた取り組みの価値付けと拡充です。これにより、工業に学ぶ生徒達が評価され、自己有用感が高まり、骨太のキャリア形成が図られると考えています。

また、平成２８年度に本県で技能五輪全国大会が開催されることになりました。技能五輪全国大会は、青年技能者の技能レベルの日本一を競う競技大会です。大会目的は、次代を担う青年技能者に努力目標を与えるとともに、大会開催地域の若者に対して優れた技能を身近にふれる機会を提供するなど、技能の重要性、必要性をアピールし、技能尊重機運の醸成を図ることにおかれています。出場選手は、各都道府県で選抜された２３歳以下の若者です。まさに、現在の工業高校等で学ぶ生徒達にこの舞台での活躍が期待されています。本大会の開催は、本県及び東北各県にとって大きな喜びであり、東北の産業の再生と東北のものづくりの底力を全国の皆様に知っていただく絶好の機会になると考えています。本大会を意識させた上で技能検定に取り組ませることにより教育効果も高まり、ものづくりにかけた夢を追う若者にとって大きな目標になることでしょう。また、「ものづくり県・山形」を全国にＰＲする良い機会となり、地域における技能尊重の機運の醸成を深めるきっかけになるものと期待しています。開催にあたっては、本県の小・中・高校生が全国トップレベルの卓越した技能や真剣に取り組む姿勢に触れる機会を設け、将来への技能継承にもつなげたいと考えています。更に、子供から高齢者まで幅広い県民と、全国の参加選手や技能関係者との交流の場を設けることで、相互理解を一層深めるきっかけの場となればと思います。開催に向けた今後の動向（準備）に御注目いただき、山形らしい「おもてなし」で、技能の祭典にふさわしい、爽やかで明るい大会となりますよう御協力ください。